次世代リーダー育成のための
MOT(技術経営)オープンスクール

＜講義内容　1/2＞

BtoB マーケティング

10 月 8 日（土）
講師：髙杉 康成　コンセプト・シナジー株式会社　代表取締役

「ＢtoＢビジネスにおいて自社の技術、ノウハウをどのように生かしていくか」をテーマに、高付加価値を生み出すためのＢtoＢマーケティングについて「ニーズマネジメント」「組織営業力強化」の観点から講義していきます。

事業計画の立て方講座

10 月 22 日（土）
講師：名取 隆　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科　教授

新事業を立案し、実践的な計画を策定できる知識と技能を修得します。計画策定に必要な手法、フレームワーク及び事例を学び、グループ演習によって楽しみながらアイデアを発想し、簡単な計画案を検討する演習を行います。

中小企業の知財/デザイン思考

11 月 5 日（土）
講師：小田 哲明　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科　准教授

前半は、中小企業における知財戦略を事例を交えて紹介します。特許だけでなく、デザイン・ブランド・ノウハウの観点から知財戦略の在り方を学びます。
後半は、グループワークを通して、デザイン思考を活用した事業戦略立案を行います。

次世代リーダー育成のための
MOT(技術経営)オープンスクール

＜講義内容　2/2＞

ものづくりリーダーの育成

秋期 11 月 19 日（土）
講師：中塚 信雄　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科　教授

ものづくりの概念が変化してきている昨今、ものづくりの全体像の捉え方やそのマネジメントの仕方が重要なポイントになっています。技術経営のバックグランドにあるものの見方考え方について、歴史的事例やその進化の形態の中から、本質的なものづくりとは？リーダーにとって大事な視座とは？何なのかをレクチャーと共に議論していきます。

数字でみた経営の未来

12 月 3 日（土）
講師：木村 安寿　木村公認会計士代表者（公認会計士・税理士・行政書士）

下記７項目について学びます。
① 決算書の読み方：月次決算の必要性や基礎的な経営分析
② 経営者や従業員の不正の手口
③ 消費増税とインボイス方式への対応
④ 会社の組織形態：分社・カンパニー制等
⑤ 相続税対策と上場
⑥ リーダーの要件：ゼネラリスト・人事異動への対応
⑦ 内部統制

次世代リーダー育成のための
MOT(技術経営)オープンスクール

＜講師紹介　1/2＞

BtoB マーケティング

髙杉康成　コンセプト・シナジー株式会社　代表取締役

コンセプト・シナジー株式会社　代表取締役。岡山県立大学地域共同研究機構客員教授。神戸大学大学院経営学研究科修了（ＭＢＡ）。元キーエンス新商品企画グループチーフ。全国の上場企業から中小企業において、高付加価値型の新規事業・新商品開発の支援、および収益力を向上させるための仕組み・組織改革、高収益型ソリューション営業組織の構築などを支援している。日経ビジネスオンライン連載、日経ＢＰ社「高収益商品開発塾」などの講師を務める。近著に「ヒットの原理」日経ＢＰ社がある。

事業計画の立て方講座

名取隆　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 教授

東京大学経済学部卒業後、日本開発銀行（現在の日本政策投資銀行）入行。日本政策投資銀行地域振興部企画審議役を経て、2009 年 4 月より現職。英国ロンドン・ビジネス・スクール・スローン・プログラムコースを修了、博士（工学、東北大学）の学位を有する。

業界、企業、事業プロジェクトに関する調査、審査、融資業務に従事し約 30 年に亘る豊富な実務経験を有する。また、自治体へ出向し、現場のアントレプレナー育成の経験を積み、現在は自治体等の中小企業支援政策に協力するとともに、企業研修会の講師等として地元企業の経営幹部、技術者等の教育、指導にも携わる。

研究分野は中堅中小・ベンチャー企業論、オープンイノベーション（産学連携、産学官連携等）、技術マーケティング、新製品・新事業開発など。近著に「中小企業のための技術経営（ＭＯＴ）入門」がある。

次世代リーダー育成のための
MOT(技術経営)オープンスクール

＜講師紹介　2/2＞

中小企業の知財/デザイン思考

小田哲明　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 准教授

東京大学博士課程修了。2001 年弁理士登録、2008 年米国弁理士試験合格。国内外の特許法律事務所にて特許出願業務に従事。日米の特許制度及び特許実務に精通する。ストックホルム王立工科大学、カールスルーエ大学、及びスタンフォード大学の研究員を経て、大阪大学工学研究科特任准教授に着任。2010 年 4 月より現職。

ものづくりリーダーの育成

中塚信雄　立命館大学大学院テクノロジー・マネジメント研究科 教授

オムロンに 38 年間勤務し、主力事業のファクトリーオートメーション（インダストリアル・オートメーション・ビジネス・カンパニー）の技術関連の責任者を務めた。現在、立命館大学大学院の教授および東北大学大学院の非常勤講師を務める。Ｒ＆Ｄ・知財、商品開発、生産技術、事業開発など技術経営関連の実務を経験し、モジュール型生産システム関連の博士論文を執筆。実務と学術の両面からの議論を行う。

数字でみた経営の未来

木村安寿　木村公認会計士代表者（公認会計士・税理士・行政書士）

昭和 24 年生まれ。昭和 48 年大阪大学経済学部経営学科卒業。昭和 48 年監査法人等松青木（現 有限責任監査法人トーマツ）入所、昭和 52 年公認会計士登録。平成 3 年トーマツコンサルティング㈱代表取締役社長就任。平成 7 年監査法人トーマツ代表社員就任。平成 9 年、デロイトトーマツコンサルティング㈱関西事業部長常務取締役。平成 11 年、トーマツ及びデロイトトーマツコンサルティング㈱退職後、木村公認会計士事務所開業（現）。平成 13 年税理士登録。平成 17 年関西学院大学専門職大学院経営戦略研究科教授就任。ビジネス、ＩＴ、会計・税務の様々な分野に精通し、豊かな経験に裏付けられたコンサルティングには定評がある。